

増田先生の

やさしく学ぼう



【監修】
愛媛大学 客員准教授
医学博士 増田 晴造

放射性炭素による年代測定法

木材、貝殻、骨などの遺物の年代測定には、炭素14による方法が使われています。炭素14は、宇宙線と大気中の窒素原子との核反応で作られる放射性元素で、天然に存在する安定な炭素と炭素14の比率は一定です。生物は生きていた時には炭素を取り込むため、生体中の両者の炭素の比率は大気中の比率と同じです。死後は新たに取り込むことができなくなるため、その半減期5730年に従って減っていく炭素14の量を測定することで、生命活動が停止した年代を推測することができます。



TOPICS | 炭素14により年代測定した大賀ハス

1951年、千葉県の上野遺跡で、植物学者の大賀一郎博士らは3粒のハスの実を発掘しました。博士はそのハスの実の一つを育て、翌年ピンク色の大輪の花を咲かせることに成功し、この花は「大賀ハス」と命名されました。大賀博士は、種の上層部にあった丸木舟の破片をシカゴ大学原子力研究所に送り、放射性炭素による年代測定を依頼しました。その結果、ハスの実の年代は今から2000年前、弥生時代以前のものであると推定することができました。



大賀ハス

愛媛県伊方原子力広報センター

原子力発電や放射線について、展示パネルや地形模型、映像等で紹介しています。ご自由に見学いただけますので、ぜひご来館ください。

- 開館時間 / 午前9時～午後4時 ● 休館日 / 祝日及び12月29日～1月3日
- 所在地 / 〒796-0301 西宇和郡伊方町湊浦1995-1 伊方町民会館内
Tel.0894-38-2036 Fax.0894-38-2026 URL <https://www.ikata-dr-sada.or.jp/>
- 交通 / JR八幡浜駅から車で約20分 ● 入場料 / 無料(団体での見学はあらかじめご連絡ください。)

発行 / 愛媛県 令和5年12月
編集 / 公益財団法人 伊方原子力広報センター
〒796-0301 愛媛県西宇和郡伊方町湊浦1995-1(伊方町民会館内)
【TEL】0894-38-2036 【FAX】0894-38-2026



えひめ原子力だより それいゆ

Soleil

2023 Winter No.171

えひめ1dayジャーニー Study and Active Vol.3 南予エリアで欲張りな時間を楽しむ旅



- ### Contents
- P1 令和5年度愛媛県原子力防災訓練を実施しました。
 - P3 環境放射線等調査結果をお知らせします。
 - P4 講演会のご案内 原子力施設団体見学会のご案内
 - P5 えひめ1 dayジャーニー Study and Active vol.3 南予エリアで欲張りな時間を楽しむ旅

西予市立美術館 ギャラリーしろかわ (西予市)
「かまぼこ板に描かれたアートをぜひ見に来て欲しい」と微笑むのは小田原館長。周辺にはこの施設を含めて3つのミュージアムが集中しており、知的好奇心を満たしてくれます。

愛媛県原子力防災訓練を実施しました。

令和5年10月12日(木)、21日(土)に、伊方発電所において事故が発生したとの想定の下、県内市町や国、周辺県等と連携し、原子力防災訓練を実施しました。

原子力防災訓練ってなに？

原子力発電所のある地域において、発電所で事故が発生したことを想定して、避難や検査などのさまざまな訓練を行うことです。

その地域ごとに、地形や気候、住民の人数などの発電所を取り巻く事情が異なる中、想定する状況や訓練内容を毎年工夫しています。



主な訓練の内容

◆災害対策本部訓練

県や関係市町に災害対策本部を設置し、道路の被災状況の共有や、広域避難の受入調整等、災害時に必要となる応急対策活動の検討や決定の訓練を行いました。



災害対策本部会議



関係機関とのテレビ会議

◆災害広報訓練

住民に対して、防災行政無線や広報車、緊急速報メール等を活用して、事故情報等の広報訓練を行いました。



臨時災害放送局による災害広報

◆オフサイトセンター運営訓練

国や自治体等の防災関係者が集まり、住民避難等の調整のため、関係機関との情報収集・情報共有の訓練を行いました。



機能班の活動



全体会議

◆原子力災害医療活動訓練

安定ヨウ素剤の緊急配布訓練や、放射性物質が車両や衣服に付着していないかを調べる避難退域時検査訓練等を行いました。



安定ヨウ素剤の配布



放射性物質の検査

◆住民避難・誘導訓練

伊方発電所から30km圏内の住民を円滑に避難させるため、陸海空の多様な手段を用いて住民の避難・誘導訓練を行いました。



バスによる陸路避難



航空自衛隊大型ヘリ「CH-47」による空路避難



漁業取締船「うわかぜ」による海路避難

◆緊急時モニタリング訓練

●緊急時モニタリング運営訓練

放射線モニタリング情報の監視や、現地分析機関への指示書の作成等の訓練を行いました。



モニタリングの検討

●現地モニタリング活動訓練

大気や水、土壌などの環境試料中の放射性物質濃度を測定・分析する訓練を行いました。



環境試料の測定・分析

★海上モニタリング訓練 新規

海路避難に使う船上において、海上の空間放射線量率を確認する訓練を行いました。



海上の線量率の測定



測定に使うサーベイメータ



なぜ海上モニタリングが必要な？

伊方発電所が佐田岬半島の付け根に位置しているという地理的特性を踏まえて、避難計画では陸路避難だけでなく海路避難も想定しており、避難住民及び防災関係者等の安全・安心のためにモニタリングを行います。

測定結果はどのように活用されるの？

測定結果は県及び町の災害対策本部へ情報連携し、避難住民及び防災関係者等の安全確認に活用することとしています。

環境放射線等調査結果をお知らせします。

令和5年4月～令和5年6月

愛媛県と四国電力(株)は、伊方発電所周辺の環境保全を図るとともに公衆の安全と健康を守るために、発電所周辺の環境放射線や放射能の調査を行っています。



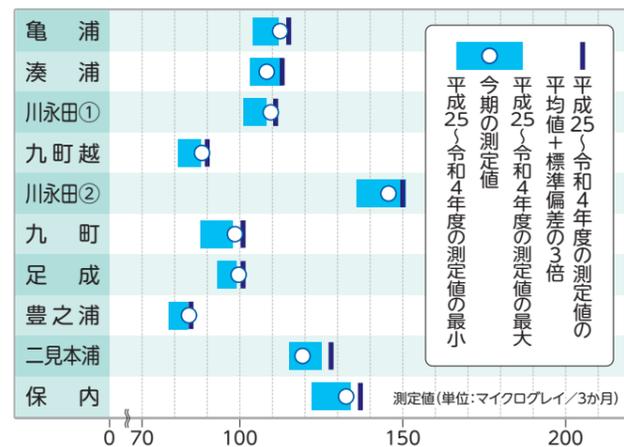
●伊方発電所周辺の環境放射線量 (代表的な地点の例)

伊方発電所の周辺41地点のモニタリングポイントでの4月～6月の3か月間の測定値は、どの地点も、これまでの値と同程度で、**異常はありませんでした。**

環境放射線量

環境における放射線の3か月間の積算線量で、ほとんどがその地点における大地からの放射線と、宇宙線によるものです。

▶平成25年度以降の測定値との比較



環境放射線のリアルタイムのデータや過去の測定結果は「[愛媛県原子力情報ホームページ https://www.ensc.jp](https://www.ensc.jp)」でご覧いただけます。



愛媛県原子力情報ホームページはこちら

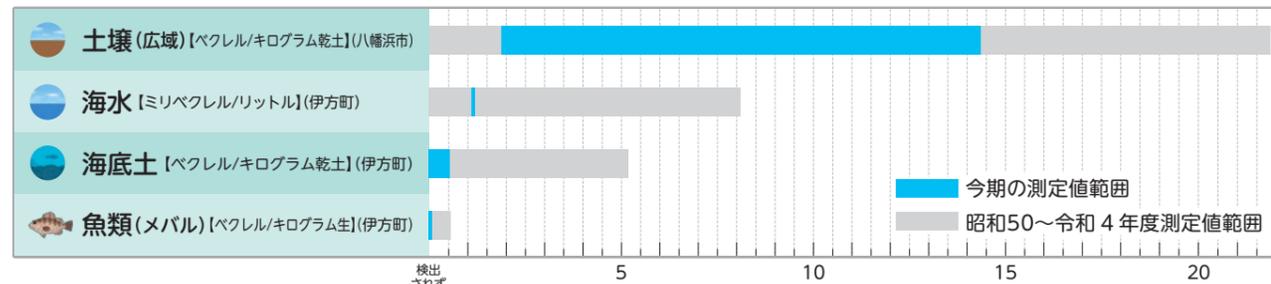


環境放射線等調査結果はこちら

●環境試料の放射性核種分析結果

伊方発電所周辺の環境試料中の放射性物質の分析結果は、過去の調査結果と同じレベルで、**異常はありませんでした。**なお、セシウム-137がわずかに検出されていますが、これは伊方発電所1号機運転開始前から継続して検出されているもので、人体への影響上、問題となる濃度ではありません。

▶セシウム-137の放射能測定結果 (愛媛県測定分)



講演会のご案内

参加無料

エネルギーについて、知識を深めていただくための講演会を開催します。多数の方の参加をお待ちしています。



- 日時 **令和6年1月28日(日)** 午後1時30分～3時30分
- 講師 国際環境経済研究所 所長 常葉大学 名誉教授
やまもと りゅうぞう
山本 隆三 先生
- 演題 『欧州発エネルギー危機が変えた産業、家庭と地域の将来』
- 場所 宇和島市立吉田公民館(宇和島市吉田町東小路甲106番地)
- 定員 90名(先着順)
- 申込締切 令和6年1月25日(木) ※定員に達していない場合、当日の受付可。



お申込み・お問い合わせ

公益財団法人 伊方原子力広報センター

TEL:0894-38-2036(受付時間:9時～16時 祝日除く)

ホームページ:<https://www.ikata-dr-sada.or.jp/>

※気象状況など不測の事態により中止になる事があります。中止の場合は、ホームページでお知らせいたします。直接お問い合わせをされる場合は、090-7786-8264までお電話ください。



▲お申込みはこちら



お申し込みお待ちしております!

原子力施設団体見学会のご案内

参加無料

伊方原子力広報センターでは、15名以上の各種団体を対象とした、原子力発電や放射線についての施設見学会のお申し込みを、随時受け付けております。

見学をご希望の団体の方は、伊方原子力広報センターまで、お電話でお申し込みください。見学施設や日程等をご相談のうえ、実施いたします。(回数に限りがありますので、お早めにお問い合わせください。)

- 対象 伊方町・八幡浜市・大洲市・西予市・宇和島市・伊予市・内子町の各種団体(学校・PTA・婦人会・老人会・町内会等)
- 見学施設 四国電力(株)伊方発電所・伊方ビジターズハウス・伊方原子力広報センター等
- 実施期間 5月下旬～2月 ※送迎バス有

お申込み・お問い合わせ

公益財団法人 伊方原子力広報センター

TEL:0894-38-2036 受付:9時～16時(祝日除く)



えひめ1dayジャーニー

Study and Active

Vol.3 南予エリアで欲張りな時間を楽しむ旅

休日は愛媛県内で「学び」と「遊び」の両方を楽しみませんか。新たな知恵を習得できるミュージアムでしっかりとした時間を過ごしたら、自然と触れ合い、体を思う存分動かせるスポットへ。盛りだくさんな1日により、心身がリフレッシュできるはず。第3回は南予で欲張りな時間を楽しむ旅プランをご紹介します。

マナーを守りながら安全に楽しんでね

Active

あけはまシーサイドサンパーク 釣り桟橋

西予市

西予の海で冬の美味しい魚を釣り上げよう!

変化に富んだ自然に恵まれた西予市は、自然とのふれあいスポットが目白押し! 特に黒潮が流れ込む宇和海は、一年を通じてフィッシングを楽しむ人で人気です。もちろん冬の釣りは寒さとの戦いになりますが、競合する釣りが少ないこと、魚自体の脂のりがよくなり美味しくなることから、ぜひ投げ釣りに挑戦してみましょう。「あけはまシーサイドサンパーク」の釣り桟橋は、フェンスやベンチがあるので安全に釣りができ、近くに駐車場やトイレなども完備。釣具レンタル(有料)も用意しています。



【あけはまシーサイドサンパーク 釣り桟橋】
●住/愛媛県西予市明浜町高山甲461-1
●Tel/0894-69-8022
●駐車場/あり(無料)



【龍澤寺緑地公園キャンプ場】
●住/愛媛県西予市城川町魚成760
●Tel/0894-82-0150(管理棟)
●利用料//バンガロー 1,500円~
●駐車場/あり(無料)

賑わいから離れた静かなひとときをどうぞ

春には宿泊も!

龍澤寺緑地公園キャンプ場

「ギャラリーしろかわ」などがあるエリアから近いキャンプ場。場内には8棟のバンガローがあり、調理場なども完備しています。なお、11月1日~3月31日は休みとなります。



大賞に輝いた作品「この里に老いを定めて」

じっくりと見たい作品が並んでいます!



ここも立ち寄り!

四国西予ジオミュージアム&城川歴史民俗資料館

「ギャラリーしろかわ」のそばには、個性的で興味深い2つのミュージアムがあります。2022年春に開館した「四国西予ジオミュージアム」は、工夫を凝らした展示方法により西予市の自然と暮らしを学べる施設。無料で楽しめる交流スペースなどもあり、家族で楽しめることうけあい! また城川地区で発見された遺跡や遺物を展示した「城川歴史民俗資料館」も歴史ロマンを体感できると評判。ギャラリーと合わせて3館を観覧するなら「共通観覧料一般900円」で、お得に入館できます。

Study 西予市立美術館 ギャラリーしろかわ

西予市

小さいけれど大きな感動があるアート

南予地域初の自治体美術館として1993年に開館。かまぼこ板をキャンバスに見立てて、アート作品を公募する『全国「かまぼこ板の絵」展覧会』で全国的に知られており、会期中は全ての応募作品を館内で展示しています。2023年に第28回を迎えた展覧会は、2024年1月14日までが会期となっているので、急いで足を運びたいですね。今回の応募者は1歳から95歳までと幅広く、海外から寄せられた作品も。展覧会終了後は、絵画や彫刻、陶磁器、ガラスなど多様なジャンルのアートに触れることができます。



【西予市立美術館 ギャラリーしろかわ】
●住/愛媛県西予市城川町下相680 ●Tel/0894-82-1001
●開館時間/9:00~17:00(受付は~16:30)
●休館日/火曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始(12月29日~1月3日)、展示替えのため臨時休館あり
●入館料/一般500円、高校・大学生300円、中学生以下無料 ●駐車場/あり(無料)
●Web/https://www.city.seiyo.ehime.jp/miryoku/galleryshirokawa/



日本展示学会賞を受賞した展示がスゴイ!

